

夷耶馬・鷲巢岳地域の地形・地質



夷耶馬

耶馬溪式景観

香々地町夷地域は急崖、岩柱、岩峰、石門および凹凸に富む地形が発達して耶馬溪によく似た景観を呈するので「夷耶馬」と呼ばれています。

夷耶馬は火山礫と火山灰からなる凝灰角礫岩や火山灰からなる凝灰岩、砂岩などで構成されている耶馬溪層が差別侵食されてできた自然景観です。すなわち、凝灰角礫岩の火山灰や砂質の軟らかなマトリックス部分が深く削られて、火山礫がとり残され硬い部分が岩柱や岩峰などを形成しています。また岩塊(巨礫)や角礫が密集して高さ10～20mの岩柱やきのこ型その他種々の奇岩と称される地形をつくっています。



夷耶馬(中山仙境)



中山仙境



中山仙境

夷耶馬の凝灰岩層には層理が観察されることがあり、水底堆積物であることを示しています。また火山礫の岩質は角閃石安山岩、輝石安山岩、角閃石輝石安山岩、輝石安山岩などからなるが輝石安山岩が主成分です。

このような岩質からみて両子山などの山陰系火山より古い更新世前期(200万年前から100万年前)の火山活動によるものと考えられます。

以上のような特性から夷耶馬を構成する耶馬溪層は国東半島の西方の耶馬溪地域の耶馬溪層と同時代におこった一連の火山活動による噴出物からできた地層と考えられています。

国東半島の層序(概要)

地質時代			地層・岩石	主要分布地
新 生 代	第 四 紀	完新世	沖積層	河川・低地
		更 新 世	山陰系火山岩	両子山
			筑紫溶岩	鷺巣岳
			耶馬溪層	夷耶馬
中生代～古生代			変成岩類・花崗岩類	

鷺巣岳メーサ

国見町南部の鷺巣岳は標高437m、頂上から北へ向けてゆるやかに傾く溶岩台地面を残し、台地面は100m近い急崖に囲まれ、メーサと呼ばれる特異な地形がみられます。メーサは溶岩が噴出後流れた面を示し、粘性の小さい火山岩に特徴的な地形です。鷺巣岳は筑紫溶岩と呼ばれる両輝石安山岩からなる古期火山で、黒色緻密で節理がよく発達しています。

大分県では玖珠町の万年山メーサが有名ですが鷺巣岳メーサもそれに劣らず典型的な溶岩台地地形として貴重なものです。



鷺巣岳メーサ